

【管理運営状況公表様式】

平成20年度 青森県視覚障害者情報センターの管理運営状況

県所管課	健康福祉部障害福祉課
指定管理者	社団法人 青森県視力障害者福祉連合会 会長 福井 秀実
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
点字刊行物及び視覚障害者用の録音物の製作及び利用に関する業務	点字刊行物及び視覚障害者用の録音物（テープ及びCD）を定期的に製作し、貸出・閲覧に供した。
点訳奉仕者及び朗読奉仕者の養成、指導に関する業務	点字刊行物及び視覚障害者用の録音物を製作するための点訳奉仕者及び朗読奉仕者を養成するため講習会を開催するほか、指導者の技術向上のための研修会を開催した。
点字刊行物及び視覚障害者用の録音物の奨励及び相談に関する業務	新刊案内（点字版、墨字版、録音版）等を発行し、点字刊行物及び視覚障害者用の録音物の奨励・相談業務を行った。
視覚障害者に対する相談、指導訓練及び情報提供に関する業務	中途失明者に対する相談、プレクストーク（デジタル録音再生機）の操作指導、視覚障害者用機器の紹介等の情報提供を行った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用登録者数 (人)	H17		657	(指定前の実績)	
	H18	—	635 (うち県内利用者519)	—	96.7%
	H19	—	651 (うち県内利用者535)	—	102.5% (103.0%)
	H20	県内利用者520	650 (うち県内利用者535)	102.9%	99.8% (100.0%)
点字刊行物及び視覚障害者用の録音物貸出数 ()は自館製作数 (タイトル)	H17		4,320(511)	(指定前の実績)	
	H18	—	5,403(475)	—	125.1%
	H19	—	6,192(541)	—	114.6%
	H20	5,400	5,999(569)	111.1%	96.9%
奉仕員養成受講者数 (点訳、朗読) (人)	H17		点訳 10 朗読 4	(指定前の実績)	
	H18	点訳 10～20 朗読 10程度	点訳 10 朗読 7	点訳 100.0% 朗読 70.0%	点訳 100.0% 朗読 175.0%
	H19	点訳 10～20 朗読 10程度	点訳 9 朗読 7	点訳 90.0% 朗読 70.0%	点訳 90.0% 朗読 100.0%
	H20	点訳 10～20 朗読 10程度	点訳 10 朗読 5	点訳 100.0% 朗読 50.0%	点訳 111.1% 朗読 71.4%

【増減理由】

※計画比は計画の最小値に対する比

- ・利用者登録数：利用者の増員を図るべく関係機関に広報を行い、計画を上回る実績を上げた。
- ・点字刊行物等の貸出数：紹介内容を工夫し、普及に努め、計画を上回る実績を上げた。
- ・奉仕員養成受講者数：点訳奉仕員の養成講習会を初めてむつ市で開催し、10名を養成した。朗読奉仕員については例年並み。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	サービスの維持・向上について、適正に取り組んでおり、利用者アンケートでも概ね高い評価を得ている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	B	B	社会福祉協議会等に広報を行い利用者の増員に努めるなど、適正に取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	視覚障害者向けの情報機器等や、録音図書製作のための機器等の管理に努めており、適正に維持管理されている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	B	火災等の際の誘導係を定め、避難誘導体制を確保する等、適正に取り組んでいる。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	B	経理状況等に問題はなく、適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	B	B	指標の改善に向けた継続的な取組を行っており、適正と認められる。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	B	B	基本協定書の「個人情報取扱特記事項」を遵守し、適正に取り組んでいる。
総合評価	B	B	当センターの設置目的である「視覚障害者への情報提供機能」等について、適正に取り組んでいる。

○評価基準

- A（優）：適正であり、優れた実績をあげている
- B（良）：適正である
- C（可）：概ね適正であるが、一部改善を要する
- D（不可）：改善や更なる取組が必要